2023年度募集要項(大学推薦)

奨学金制度の概要

1)奨学金給付額
年額200万円、150万円又は100万円
※当財団選考委員会による評価に応じて決定。他奨学金との併給不可。
※特に研究成果及び品行の優れた継続申請者(若干名)に年額250万円の給付を行うことがあります。
※学業成績が不良のとき、また法律を犯す行為だけでなく、倫理・道徳観念上、学生として不適切な行為があった場合は、給付額減額または給付停止となることがあります。

2)奨学期間
1年間(2023年4月～2024年3月)
※奨学期間中、所属大学に在学していることが条件です。なお、奨学期間は1年間ですが、継続申請を認めます(奨学期間は最長、最終目標とする学位取得までの最短修業年限まで)。
※2022年度奨学生で、2023年秋に卒業予定の人は半年間の継続申請をすることができます。継続申請者と同様に申請書類を提出してください(給付額は「奨学金給付額」の年額の半分)。

3)申請者の区分
1．新規申請者：当財団から奨学金の給付を受けたことのない者
2．継続申請者：当財団から過去に大学推薦により奨学金を給付された者
※ただし、継続申請は2022年に成果・進展のあった者に限り認めます。
※過去に応募した際の願書を書き写した者は不採用とします。

4)給付停止の要件
1．退学したとき
2．奨学生が休学し、又は長期にわたって欠席したとき
3．奨学生が原級にとどまったとき、又は卒業延期の恐れが生じたとき
4．けが、病気などのため成業の見込みがなくなったとき
5．学業成績又は性行が不良となったとき
6．奨学金を必要としない理由が生じたとき
7．上記のほか、奨学生として適当でない事実があったとき
8．在学校で処分を受け、学籍を失ったとき
9．その他奨学生としての資格を失ったとき

推薦対象者の資格

※書類選考、面接、内定、認定式の時点で日本国外にいる人は推薦できません。

【医歯薬学系】
・博士後期課程に在籍する者及び博士後期課程への進学を希望する博士前期(修士)課程2年生(2023年4月時点)

【経営系】
・博士前期(修士)課程及び博士後期課程に在学する者
・経営学に関連していれば経済学など幅広い分野が対象
・経営学の基盤ができていない発展途上国出身の留学生については「国際関係学分野」も対象に含む

【工学系】
・博士後期課程に在籍する者及び博士後期課程への進学を希望する博士前期(修士)課程2年生(2023年4月時点)
・人間医工学・生体材料工学、人間支援工学・医療福祉工学、生命情報学・計算科学、創薬に関わる研究等、医学・薬学に関連の深い分野の研究をしている者(研究分野の詳細はQ&Aをご覧ください)
※医学・薬学との関連(学会発表、論文などの実績を含む)が願書に明記されていない場合は選考対象外

(1) 2023年4月1日時点で満38歳以下の私費留学生(在留資格が「留学」の者に限る)
(2) 当財団が指定する大学院の正規課程に在学する者
(3) 過去に大学推薦または直接応募で当財団に応募し不合格になったことがない者
(4) これまで直接応募で当財団の奨学生として採用されたことがない者
(5) 向学心に富み、学業優秀であり、品行方正である者
(6) 独自性のある研究、革新的な研究に携わっている者
(7) 財団に提出する書類(応募書類を含む)に対して指導教員などのしかるべき指導、チェックを受けられる者
(8) 奨学期間中に合計40日以上日本を離れない者

(9) 国際的視野を持ち、日本と各国の架け橋としてリーダーシップを発揮できる者
(10) 学資の支弁が困難と認められる者
(11) 当財団のイベントや奨学生のネットワークに積極的に参加し協力できる者
(12) 日本語を学ぶ意欲のある者
※英語で書かれた願書も受け付けますが、願書及び面接において日本語への意欲が見られない場合は減点します。
(13) 研究成果をもって社会貢献を期する者
(14) 上記(1)～(13)の資格及びその他当財団の定める条件を満たす者
※標準修業年限内での修了が見込めない者は推薦不可
※夜間・週末の授業のみ、通信制の留学生は推薦対象外
※同じ研究室からの推薦は1人のみ

応募方法　申請サポートシステムを導入しています。願書他の「Web提出」と「郵送」の両方の手続きが必須です。

1)応募方法　※詳細は4ページの「申請の流れ」をご覧ください。
1. https://otsuka.yoshida-p.net/suisen/より申請サポートシステムへ入り、「申請の流れ」に従って基本情報を入力の上、PDFにした願書(推薦状は除く)、成績証明書、日本語訳(英語で願書を記入した場合のみ)をWeb提出してください。指定されていない書類(論文など)はアップロードしないこと。
※推薦状を除く願書の全ページ(写真のあるページはカラー)がアップロードされていない場合は選考対象外となります。
※Web提出する願書にも必ず写真を貼付すること。
※願書は必ずスキャンしてPDFにすること(アプリなどで写真をPDFに加工したものは不可。横向き不可)。
※入力した基本情報と願書の内容に差異がある場合は選考対象外となります(特に氏名と研究タイトルに注意)。
Web提出のやり直しはできません。よく確認の上、提出ボタンを押してください。
2. Web提出後に通知される受付番号を指定の5ヵ所(「申請の流れ STEP04」参照)に記入の上、応募書類をまとめて大学の担当者に提出してください。推薦状の入った封筒にも受付番号を書いてください。
3. 大学のご担当者は以下の応募書類を取りまとめの上、事務局宛に郵送してください。
※Web提出した願書と郵送した願書に差異がある場合は選考対象外となります。
※提出された書類は、当財団の事業を遂行する目的以外には一切使用しません。
※応募書類は返却しません。
※必ず大学を通じて応募してください。応募者本人からの直接の問い合わせ・応募は受け付けません。

【送付先】　〒540-0021　大阪府大阪市中央区大手通3-2-27　大塚グループ大阪本社ビル
公益財団法人大塚敏美育英奨学財団　事務局

2)応募書類
1. 該当の奨学生願書(A4サイズで片面印刷した当財団指定用紙を使用し、ホチキス留めはしないこと)
※推薦状以外の書類はすべて応募者本人が日本語または英語で手書きすること(黒インクのペンを使うこと。消せるペン・青インクのペンは使用不可)
なお、英語で書かれた願書も受け付けますが、日本語訳の添付が必須です(日本語訳の不備、字数制限のあるページに対して日本語訳に字数が明記されていないものは選考対象外)。英語で願書を提出する場合は日本語訳についてのQ&Aを必ず参照してください。
※継続申請者は過去に応募した際の願書を書き写さないこと。前回の記述を一部でも書き写した者は選考対象外。抱負や研究内容に変更がなかったとしても、必ず新たな表現で書き起こすこと。
※指導教員、大学担当者の適切なチェックを経ていないと思われる応募書類(願書の内容及び日本語訳を含む)を提出した者は選考対象外とします。
2. 推薦状(推薦者が自筆で署名の上、密封して提出すること。推薦状が英語の場合、日本語訳の添付が必須です。)
3. 写真1枚(4.5×3.5cm、カラー、胸から上、正面で、応募前6ヵ月以内のものを願書に貼付のこと)
4. 成績証明書(履修科目、単位数、点数、評価及びその説明のあるもの。合格、不合格の評価のみのものは不可。段階評価又は点数評価された直近の年のものを送付すること。成績が出ない旨の証明書は不可)
※成績証明書は1年分必要なため、直近のものが半年分の場合はその前年のものも添付すること。
5. 在学証明書(日本語で書かれた募集開始日以降のもの。コピー不可)
6. 住民票の写し(募集開始日以降のもの。コピー不可。「国籍・地域」「在留資格等」が省略されたもの不可。マイナンバーが記載されたもの不可)

7.奨学生願書及び成績証明書のコピー4セット
※「1.奨学生願書」及び「4.成績証明書」をA4サイズで片面コピー(写真貼付の願書1枚目のみカラー)したものを1セットとして、4セット同封すること。なお、ホチキス留めはしないこと。
8.論文のコピー4セット(該当者のみ)
※出版済みの論文がある場合はそのコピーも4セット同封すること(両面コピーでホチキス留めし、自分の名前に赤ペンで下線を引くこと)。
※論文の右上に受付番号とカタカナで名前を書くこと。
※継続申請者は、昨年提出した論文は提出不要です。

3)締切日
Web提出：2022年11月28日(月)17時
郵　　送：2022年11月30日(水)15時(事務局必着)

選考、採用及び奨学金の給付について

1)選考
国籍の多様性も重視して選考を行います。選考は書類選考と面接によって行い、採用は選考委員会を経て理事会で決定します。
なお、面接は大阪または東京で2023年2月中に行います(予定)。

2)採用
3月末日までに採否を大学に通知します。
採用された場合、当財団指定の「確認書」の提出及び2023年7月28日(金)、29日(土)に開催する当財団認定式への出席が必須となります。確認書提出後は、他の奨学金等を受給する目的で当奨学金を辞退することはできません。

3)奨学金の給付
原則として年間給付額を2回に分けて、8月と12月の一定日に本人名義の口座に直接振り込みます。
また、研究や日本語学習、国際理解に役立つ本を買う費用として図書費を給付します(金額は1万円程度を予定しています)。図書費で購入した本の読書レポートを提出していただきますので、予めご了承ください(11月頃予定)。
※半年間の継続申請採用者の奨学金の給付時期、認定式への出席については別途定めて該当者に連絡します。図書費の給付は行わない予定です。

特　徴

この奨学金の特徴は次の通り
(1) 奨学金は給付とし、返済の義務はありません。(虚偽の申告をした場合はこの限りではありません。)
(2) 奨学生の卒業後の就職、その他一切については本人の自由とします。

奨学生の義務

奨学生は以下に定める義務を履行する必要があります。
(1) 奨学生は、募集要項に規定された内容を遵守し、資格条件に抵触することがあれば速やかに届け出ること
(2) 次のいずれかに該当する場合は、直ちにその旨を代表理事に届け出ること
　1．休学、復学、転学又は退学したとき
　2．停学その他の処分を受けたとき
　3．氏名、住所その他重要な事項に変更があったとき
　4．留年又は卒業延期の恐れが生じたとき
(3) 以下の書類を代表理事に提出すること
　1．在学証明書及び生活状況報告書
　2．成績証明書
(4) 当財団主催の行事に参加すること
(5) 奨学期間終了後も定期的に当財団に近況を報告し、卒業生のネットワークに参加すること

Q & A

推薦対象者の資格に関するQ＆A

Q 国籍の制限はありますか？

A 国籍の制限はありません（ただし、日本国籍を有する者を除く）。

Q 年齢制限はありますか？

A 2023年4月1日時点で満38歳以下の人が対象です。

Q 在留資格が「留学」以外の学生も推薦できますか？

A 推薦できません。

Q 研究生も推薦できますか？

A 研究生は推薦できません。非正規留学生は対象外です。

Q 過去に直接応募で採用されたことがある人や応募したことがある人は、推薦できますか？

A 過去に直接応募で応募したことがある人は合否にかかわらず推薦できません。４月から募集を開始する「直接応募」で応募してください。

Q 経営学専攻でなければ推薦できませんか？

A 経営学に関連していれば経済学、データサイエンスなど幅広い分野が対象となります。また、経営学の基盤ができていない発展途上国出身の留学生については「国際関係学分野」も対象に含まれます。

Q 工学系の研究科に在学している人は推薦できますか？

A 推薦できますが、「医学・薬学に関連の深い工学分野」を研究している人に限ります。願書に医学・薬学にどう関連するか、どう応用できるかを必ず明記してください。関連が不明確な場合は選考対象外となります。

【対象となる分野の例】
- 人間医工学
  （検査・分析機器の開発、生体材料工学、光学機器開発、治療・診断等の医用システム、医療・薬学・バイオ等の研究開発を支援する機械開発など）
- 人間支援工学・医療福祉工学
  （健康福祉工学、人間支援工学、看護・介護工学、産業用を除く人間支援ロボット工学、リハビリテーション工学など）
- 生命情報学・計算科学
  （ゲノム統計解析など）
- 創薬に関わる研究

Q 他奨学金を受給している人は推薦できますか？

A 奨学期間にかかる奨学金の受給が決定している人は推薦できません。

Q 来日前の2023年4月入学確定者は推薦できますか？

A 推薦できません。願書とともに在学証明書、住民票の提出が必須のため、推薦時点で日本にいる人が対象です。

提出書類に関するQ＆A

Q 2023年4月入学確定者は推薦できますか?

A 推薦できますが、原則として2023年4月に同大学で学部→修士(経営学のみ)、又は修士→博士に進学する人及び研究生から正規課程に入学する人に限ります。ただし、4月からの指導教員が被推薦者と面談を重ねているなど、十分な認識をもって推薦状を書ける場合のみ推薦対象となります。必ず入学を証明する書類のコピーを添付してください。

工学系については、博士後期課程への進学を強く希望し準備を進めている博士前期(修士)課程2年生(2023年4月時点)も推薦できます。

Q 2023年秋に卒業する人は推薦できますか?

A 推薦できません。奨学期間(2023年4月から2024年3月まで)在学している人のみが対象です。ただし、2022年度の奨学生は卒業までの半年間の継続申請をすることができます。

Q 長期履修生や標準修業年限を越えている人は推薦できますか?

A 長期履修生や標準修業年限を越えている人(オーバードクターを含む)、標準修業年限内での修了が見込めない人は推薦できません。採用されてから卒業延期となった場合は採用が取り消されます。

Q 交換留学をする予定がある人は推薦できますか?

A 交換留学、帰省、旅行、日本国外からオンライン授業を受けている等で奨学期間中に合計40日以上日本を離れる(生活のベースが日本にない状態)予定がある人は推薦できません。

Q 奨学生願書はどのように入手できますか?

A 願書は郵送したものをコピーするか、大学担当者にメールで添付したものをプリントアウトして使用してください。当財団ホームページからはダウンロードできません。
新規申請と継続申請、医薬系と経営系で願書が異なりますので注意してください(工学は医薬系の願書、工学用の推薦状を使用すること)。誤った願書で応募した場合は選考対象外となります。

Q 願書は手書きでなくても応募できますか?

A 応募者本人が手書きで記入してください。タイプした願書や代筆が含まれたもの、消せるペンで記入したものは選考対象外です。

Q 所属機関については、いつ時点の情報を記入すればいいですか?

A 所属機関・学年他、学業・生活面の各項目については、申請時点の状況を正確に記入してください。ただし、2023年4月に進学が決定している人のみ、所属機関・学年等は2023年4月時点について記入してください。

Q 奨学生願書及び成績証明書のコピー、論文のコピーはどのようにして提出すればいいですか?

A 奨学生願書及び成績証明書はA4サイズで片面コピー(写真貼付の願書1枚目のみカラー)したものを1セットとして、4セット同封してください。英語で願書を記入した場合は日本語訳も4セットコピーし、添付してください。
チェックリスト、在学証明書及び住民票並びに推薦状のコピーは不要です。なお、ホチキス留めはしないでください。
出版済みの論文がある人は、両面コピーしてホチキス留めしたものを4セット同封してください(最初のページの自分の名前に赤ペンで下線を引き、右上には受付番号と、カタカナで名前を書くこと)。継続申請の人は、2021年12月以降に掲載(決定)された論文のみ提出してください。

Q & A

Q 奨学生願書④「学歴・職歴」はどのように記入すればいいですか？

A 母国の最終学歴から現在までの経歴(日本語学校や研究生等含む)を、上から順に時系列で空白期間がないように記入してください。職歴がある場合は具体的に記入してください。

記入例)

2013	9	～	2017	8	○○大学　△△学部　××学科 (中国○○省△△市)
2017	9	～	2020	8	株式会社○○○　研究開発職 (中国○○省△△市)
2020	10	～	2021	3	☆☆☆日本語学校(東京)
2021	4	～	2022	3	○○大学大学院　△△研究科 研究生
2022	4	～			○○大学大学院　△△w研究科 一貫制博士課程

Q 入学したばかりで、在籍する大学院の成績証明書がありません。その場合、大学の時の成績証明書で応募できますか？

A 卒業した大学の成績証明書で応募できます。

Q 成績証明書は原本でなく、コピーでもいいですか？

A コピーで応募できます。

Q 母国語で書かれた成績証明書で応募できますか？

A 日本語又は英語表記の成績証明書の取得が困難な場合は、母国語で書かれた成績証明書で応募できます。なお、募集要項に記載の通り、履修科目、単位数、点数、評価及びその説明のある直近の年のものを提出してください(合格、不合格の評価のみのものは不可)。成績証明書は１年分必要なため、直近のものが半年分の場合はその前年のものも必ず添付してください。

Q 11月30日(水)の締切は消印日ですか、到着日ですか？

A 11月30日(水)15時事務局必着です。郵送以外は受け付けません。
なお、当財団ホームページの申請サポートシステムからのWeb提出期限は11月28日(月)17時ですので注意してください。必ずWeb提出後に応募書類を郵送してください。

Q 英語で書いた願書は受け付けていますか？

A 受け付けますが、英語で記入された部分は固有名詞も含めすべて日本語訳の添付が必須です。その場合も、願書への英語での記入は必ず応募者本人が手書きで行ってください。
なお、日本語で記入できる部分は日本語で記入してください。
日本語訳は手書きである必要はなく、様式は問いませんが、願書の各ページに対応させてください。両面は不可です。不自然で意味の通らない訳、誤訳、大幅な訳漏れ、原文にない内容が訳に入っている等の日本語訳の不備は選考対象外となりますので、注意してください。「将来の抱負(「将来の抱負とこの１年の進捗」)」「研究内容(「研究について、この１年の進捗と来年の研究計画」)」「過去１年の成果及び活動」については必ず日本語訳の字数を明記し、字数制限を守ってください。

Q 英語で記入する際、願書のマス目のある「将来の抱負(将来の抱負とこの１年の進捗)」「研究内容(研究について、この１年の進捗と来年の研究計画)」「過去１年の成果及び活動」はどのように記入したらいいですか？

A マス目を無視して記入してください。英語の字数については問いませんが、日本語訳については必ず字数制限を守り、字数を明記してください。

Q 「過去1年の成果」が特にない場合はどうしたらいいですか？

A 学会発表・論文投稿だけでなく、学業面の成果や社会貢献活動等を含めて、1年間の成果及び進展について記入してください。成果及び進展が乏しい場合は応募できません。

Q 他奨学金と併給できますか？

A 併給できません。
国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「次世代研究者挑戦的研究プログラム」、文部科学省の「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」他、同様のプログラム／プロジェクトに基づく給付金との併給はできません。
研究奨励費、研究専念支援金などの名称にかかわらず、使途（研究に直接必要な物品の購入費用など）が指定されていないもの、生活費にあてられるものはすべて奨学金とみなします。

Q 「他奨学金・研究助成金の併願状況」の受給状況について、1回のみ支給される場合などはどのように記入すればいいですか？

A Web入力時は「年額」を選択して給付の総額を入力してください。願書には、空いているスペースに「1回のみ」など、内容がわかるように記入してください。
その他の項目についても説明が必要な場合は、願書の空いているスペースに内容を記入し、目印として付せんをつけてください。

Q 受付番号を書く5ヵ所とはどこですか？

A 募集要項または申請システムの「申請の流れSTEP04」を参照してください。また、5ヵ所に加えて推薦状の入った封筒にも受付番号を書いてください。

日本語能力に関するQ＆A

Q 日本語のレベルに関わらず応募できますか？

A 応募できます。ただし、在日期間に比しての日本語能力は、合否に影響を及ぼす可能性があります。また、面接で日本語を一言も話さないなど、日本語に対する消極的な態度は評価にマイナスとなります。

Q 英語で面接を受けることはできますか？

A 原則、面接は日本語ですが、在日期間が短い人は英語での面接も可能です。
ただし、日本語で願書を提出した場合は、日本語での面接になります。英語での面接は認めませんので、必ず応募者が使用可能な言語で願書を記入してください。
英語で面接を受ける場合も、簡単な自己紹介など日本語で話す努力をした場合はその姿勢を評価します。

Q & A

その他のQ＆A

Q 申請サポートシステムでの基本情報入力やWeb提出は誰が行いますか？

A 原則として応募者本人が行ってください。申請サポートシステム内の情報は日本語と英語が併記されています。大学のご担当者などにサポートしていただいてもかまいません。

Q 受付番号がわからないのですが？

A 受付番号はWeb提出完了時に発行されます。

Q Web提出したら、応募手続きは完了ですか？

A まだ応募手続きは完了していません。各申請書類の指定の5ヵ所（「申請の流れ STEP04」参照）に受付番号を記入し、応募書類をすべて揃えて、大学の担当者に提出してください。指定の5ヵ所に加えて推薦状の封筒にも受付番号を書いてください（大学のご担当者は、応募書類をお取りまとめの上、事務局宛に郵送してください）。

Q アルバイトなどの収入は合否に影響ありますか？

A TAやRA、アルバイトなどの収入や研究助成金の受給は合否に影響はありません。ただし収入と支出の明細が記入されていない、収支が合わないなど願書からどのように学費や生活費を賄っているか読み取れない場合、又は合理的な説明がなされていない場合は選考対象外となりますので、現状を正確に記入してください。

Q 面接はいつ、どこでありますか？

A 2023年2月中に大阪または東京で行います（予定）。こちらで指定した日時に会場へお越しください。

Q 面接の連絡はいつ来ますか？

A 1月末までにメールで大学の担当者に連絡します。

Q 継続申請の場合も新規申請と同じように応募書類をすべて揃えて提出しなくてはいけませんか？

A 継続申請の場合も新規で応募した時と同様に、すべての応募書類を揃えて事務局宛に提出してください。半年間の継続申請を希望する人も同様です。

掲載のQ＆A以外のご質問は、事務局までお問い合わせください。

財団の概要

設立年月日

2007年3月6日　「財団法人 大塚敏美育英奨学財団」 設立
2012年4月1日　「公益財団法人 大塚敏美育英奨学財団」 移行登記

設立の趣旨

わが国においては、近年少子高齢化が著しくなり今後更にこの傾向が加速するものと思われ、若年の有能な人材の育成が強く望まれております。一方、わが国と経済、教育及び文化において深く結びついているアジア・アラブ・アフリカ地域等の開発途上国においては、若年層人口は増加傾向にあるものの、わが国等の先進国における大学等の高等教育機関で学び研究するものは限られ、また留学中の経済的基盤は不十分な状況にあると思われます。

このようなわが国と開発途上国の置かれている状況と今後の互恵の益々の発展が必要な現状に鑑み、アジア・アラブ・アフリカ地域等から、わが国の大学及び大学院に留学し、医学、薬学、栄養学、体育学及び経営学を専攻する留学生に対し、奨学助成することは有意義であるものと考え、2007年に財団法人大塚敏美育英奨学財団を設立致しました。

出捐者・大塚敏美プロフィール

当財団は大塚グループ創業者一族の大塚敏美から私財の提供を受けて設立されました。

大塚敏美は1922年12月24日に徳島県鳴門市で生まれ、昼夜を問わず懸命に働く両親の下で、幸せな子供時代を過ごしました。1950年に父・武三郎が設立した大塚製薬工場に入社してからは、会社の事務はもちろん、社員寮の世話に至るまで責任を持って働く一方、日常生活では日々質素倹約し、節制に努めていました。晩年になり、何か世の中のお役に立てることがしたいと、長年に亘って蓄えた私財の提供を申し出ました。こうして2007年、大塚グループの発展を長年に亘りご支援いただいた海外地域からの留学生に対して奨学金を給付し、将来を担う人材の育成に寄与するという目的で、「財団法人 大塚敏美育英奨学財団」が設立されました。

財団法人の理事に就任してからは、毎年の奨学生認定式で長年の人生経験を通じて、「学ぶことのすばらしさ」「困難を乗り越えることの大切さ」を奨学生に語りかけてきました。礼儀正しく謙虚な人柄で、誠実さを貫き、2011年5月3日、清らかな88歳の生涯を全ういたしました。

大塚敏美の思いは現在も当財団の事業の中に生き続けています。

目　的

日本国内の大学及び大学院に在学する有能な外国人留学生に対しての奨学援護を行い、もってわが国と世界の国々との国際親善と国際理解を担う有能な人材を育成することにより、わが国と世界の国々との学術、文化、教育の相互発展及び友好の発展に寄与することを目的としています。

事　業

1. 日本国内の大学及び大学院に在学する有能な外国人留学生に対する奨学金の給付
2. 奨学金の給付を受ける留学生に対する生活指導及び助言
3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

Scholarship Guide for fiscal 2023 (University Recommendations)

Scholarship Program Overview

1) Amount of scholarship

Annual sum of ¥2.0 million, ¥1.5 million or ¥1.0 million.

* Determined on the basis of evaluations by our selection committee. Recipients must not be receiving any other scholarships concurrently.
* An annual sum of ¥2.5 million may be awarded to a small number of renewing applicants demonstrating excellent research performance and personal integrity.

Note: A scholarship recipient's failure to make satisfactory academic progress or any unethical or immoral behavior or illegal act by the recipient may result in a reduction or withdrawal of his/her scholarship.

2) Period covered by scholarship

One year: From April 2023 to March 2024

* Recipients must be enrolled in their university for the entire period covered by the scholarship. Recipients may apply for a renewal of their scholarship in subsequent years, up to the minimum total number of years required for completion of the final degree they aim to complete.
* Fiscal 2022 recipients scheduled to graduate in fall 2023 may apply for a renewal of half a year, in which case they should submit the same application documents as other renewing applicants (if they are successful, the scholarship amount will be one half of the "amount of scholarship" shown above.)

3) Applicant categories

1. New applicants: Applicants who have not previously received a scholarship from the Foundation
2. Renewing applicants: Applicants who have previously received a scholarship from the Foundation by university recommendation
   * We accept only those who had enough achievements and advancements over the past one year.
   * Copying of the past application materials will cause you to be disqualified.

4) Grounds for withdrawal of scholarship support

(1) The scholarship recipient withdraws from school.

(2) The recipient takes a leave of absence from school or does not attend classes for an extended period.

(3) The recipient fails to advance toward his or her degree or is at risk of failing to meet graduation requirements.

(4) The recipient is not expected to graduate due to injury or illness.

(5) The recipient fails to make satisfactory academic progress or engages in unethical behavior.

(6) Circumstances render the scholarship unnecessary.

(7) Circumstances other than the above arise that disqualify the recipient.

(8) The recipient is expelled from school for disciplinary reasons.

(9) The recipient otherwise ceases to meet scholarship criteria.

Eligibility for Recommendation

*Those who are not in Japan at the time of screening, interview, announcement of interview outcomes, or certification ceremony are ineligible for recommendation.

Medicine/Dentistry/Pharmacology:

- Applicants must be enrolled in a doctoral program or be enrolled in the second year of a master's program (as of April 2023) and seeking to advance to a doctoral program.

Business Administration:

- Applicants must be enrolled in a master's program or a doctoral program.
- Any field broadly related to business administration is acceptable, including economics.
- For students from developing countries where business administration is not an established discipline, "international relations" is also acceptable.

Engineering:

- Applicants must be enrolled in a doctoral program or be enrolled in the second year of a master's program (as of April 2023) and seeking to advance to a doctoral program.
- Applicants must be undertaking research in a field directly relating to medicine/pharmacology, such as human medical engineering, biomaterials engineering, human assistive technology, medical care and welfare engineering, bioinformatics, computational sciences, or drug discovery (please see the FAQ for more details regarding research areas).

* Applicants will be disqualified unless the relationship with medicine/pharmacology (including conference presentations, research papers, and other achievements) is clearly stated in the Scholarship Application Form.

(1) Applicants must be self-supporting international students residing in Japan with "college student" status and must be 38 years old or younger as of April 1, 2023.

(2) Applicants must be enrolled in an official degree program at a graduate school designated by the Otsuka Toshimi Scholarship Foundation.

(3) Applicants must not have applied unsuccessfully to the Foundation in the past, either by direct application or university recommendation.

(4) Applicants must not have previously been selected by the Foundation as a scholarship recipient through direct application.

(5) Applicants must be highly motivated, possess an outstanding academic record, and demonstrate personal integrity.

(6) Applicants must be involved in creative or innovative research.

(7) Applicants must be able to have their supervising professor or other person provide appropriate guidance and pre-checking of the documents they submit to the Foundation (including application documents).

(8) Applicants are not permitted to leave Japan for 40 or more days in total during the period covered by the scholarship.

(9) Applicants must have an international perspective and demonstrate the ability to lead and serve as a bridge between Japan and other countries.

(10) Applicants must demonstrate a need for financial aid.

(11) Applicants must give full support and cooperation to events held by the Foundation and must contribute to building network between scholarship recipients.

(12) Applicants must be motivated to study the Japanese language.
* The Scholarship Application Form may be completed in English, but selection points will be deducted if the Scholarship Application Form and interview reveal no motivation to study Japanese.

(13) Applicants must be committed to contributing to society through their research.

(14) Applicants must meet the requirements specified in (1) to (13) above and other requirements stipulated by the Foundation.
* Those who are unlikely to complete their studies within the standard period for completion are ineligible for recommendation.
* Those who have classes only at night or over weekends, or who are enrolled in a correspondence education program are ineligible for recommendation.
* Only one person can be recommended from the same laboratory.

Applications

We have introduced an Application Support System. Applicants must complete online submission then mail the original documents to the Foundation.

1) How to apply *For more information, refer to the "Application Process" section.

1. Go to https://otsuka.yoshida-p.net/suisen/ and enter the Application Support System. Follow the instructions under "Application Process" to enter your basic information and submit your Scholarship Application Form (excluding letter of recommendation), academic transcript, and Japanese translation (only if you completed the application form in English) as PDF files. (Do not upload papers or other undesignated documents.)
* Lack of pages or necessary documents will cause you to be disqualified. (The page with photograph should be scanned in colors.)
* Be sure to attach a photograph to the Scholarship Application Form you submit online.
* Be sure to use a scanner to digitize your application form as a PDF file. (We do not accept PDFs created from photographs using smartphone applications and the like. Do not scan using horizontal [landscape] orientation.)
* You will be disqualified if there are any differences between the content of the Scholarship Application Form and the basic information you entered. (Special attention should be paid to the applicant's name and research title.)

You cannot cancel your online submission, so please be cautious when making online submission.

2. **Write the reference number issued after online submission in the required five spaces (refer to STEP04 of the "Application Process" section) on your application documents, and submit the documents to the staff in charge at your university. In addition to these five spaces, you must also write the reference number on the envelope containing your letter of recommendation.**
3. **The university staff should collate the application documents shown below and send them to the Foundation Office by mail.**
   * You will be disqualified if there are any differences between the content of the Scholarship Application Form you submitted online and the one sent to the Foundation by mail.
   * Documents submitted will not be used for any purpose other than the business of the Foundation.
   * The documents will not be returned to applicants.
   * Please be sure to apply through your university. The Foundation does not handle inquiries and applications directly from applicants.

[Address]
Otsuka Toshimi Scholarship Foundation Office
Otsuka Group Osaka Headquarters Building
3-2-27 Otedori, Chuo-ku, Osaka
540-0021, Japan

2) Application materials

1. **Scholarship Application Form for your application category (Use the form designated by the Foundation, printed on a single side on A4 size paper. Please leave pages unstapled.)**
   * All documents other than the letter of recommendation must be handwritten in Japanese or English by the applicant (Use pens with black ink. Do not use erasable pens nor pens with blue ink). Applications completed in English must be accompanied by a Japanese translation (those submitted without complete and accurate Japanese translation will be disqualified. You will also be disqualified if the Japanese translation fails to indicate the character counts of the sections that have predetermined character limits). If you are to submit the applications in English, make sure to read parts explaining about Japanese translation in our Application FAQs.
   * Renewing applicants must not copy from a Scholarship Application Form submitted for a previous application.
     You will be disqualified if you copy any material from a previous application. Even if there has been no change in your future aspirations and research subjects, you should re-write your application in new words.
   * Applicants submitting application documents (including the contents of the Scholarship Application Form and Japanese translations) that appear not to have been checked appropriately by their supervising professor or university staff member shall be disqualified.
2. **Letter of recommendation duly signed by the recommender (the signature must be handwritten and not typed) and placed in a sealed envelope for submission (letters written in English must be accompanied by a Japanese translation).**
3. **Color photograph: 4.5 cm x 3.5 cm photo showing the applicant facing forward from the chest up, taken no longer than six months ago (Paste the photo to the application form.)**
4. **Academic transcript: Most recent transcript, with course titles, credits earned, grades or other evaluations of student performance, and explanations of what the evaluations mean. (Pass/fail records alone are not acceptable.) Send a transcript current as of the most recent year for which level evaluations or grade evaluations were made. A statement of reasons for not having grades in the institution currently attended is not acceptable.**
   * At least one year's worth of academic transcripts are required. If your most recent transcript only covers half a year, submit the one from the previous year as well.
5. **Student registration certificate (in Japanese) issued on or after the call for applications is made. Photocopies are not acceptable.**
6. **Certificate of residence: Official copy of full record issued on or after the call for applications is made. Photocopies, records that do not show "Nationality/Region" and "Status of Residence, etc.," and records that include an Individual Number (as nicknamed "My Number") are not acceptable.**
7. **Four sets of copies of your Scholarship Application Form and academic transcript**
   * One set = a copy of the Scholarship Application Form (1 above) and the academic transcript (4 above), single-sided, on A4 size paper (use color copying for the page with your photograph attached). Enclose four of these sets. Leave them unstapled.
8. **Four copies of your research papers (if applicable)**
   * Published research papers: Make sure to enclose them (double-sided, stapled, your name in the list of authors underlined with pens with red ink).

* Write your reference number and your name in Katakana at the upper right-hand corner of the first page of your papers.
* For renewing applicants, there is no need to submit the research papers you have already submitted to the Foundation last year.

3) Application deadline

Online submissions: Monday, November 28, 2022, 5:00 p.m.
Submissions by mail: Must arrive at the Foundation Office no later than Wednesday, November 30, 2022, 3:00 p.m.

Screening Process, Selection, and Scholarship Payments

1) Screening process

We take diversity of nationality into consideration in our screening process. The screening process involves reviewing the application documents and interviewing candidates.
Scholarship recipients will be chosen by the Foundation's selection committee, with decisions finalized by the Board of Directors.
The interview portion of the process will be conducted in Osaka or Tokyo by the end of February, 2023 (tentative).

2) Selection

Outcomes of the selection will be communicated to universities by the end of March. Attendance at the certification ceremony planned on Friday, July 28 and Saturday, July 29, 2023 and submission of a Letter of Agreement are compulsory for official certification as a scholarship recipient. Recipients are not permitted to withdraw from the scholarship for the purpose of receiving another scholarship or grant at any time after submission of the Letter of Agreement.

3) Scholarship payments

Scholarship payments are generally made twice annually on predetermined dates in August and December. Payments will be deposited directly into the recipient's designated bank account.
Moreover, you will also receive a book purchase grant toward the cost of purchasing books useful in your research, Japanese language studies, and international understanding (the expected grant amount is approximately 10,000 yen). Please be aware that you will be required to submit a Reading Report (in around November) on all books purchased using the book purchase grant.
* Renewing applicants selected to receive the scholarship for a further half-year will be contacted separately regarding the timing of their scholarship payments and attendance at the certification ceremony. The Foundation plans not to provide such applicants with book purchase grants.

Scholarship Type

1. The Otsuka Toshimi Scholarship is awarded with no obligation of repayment (except when false declaration is made).
2. The Otsuka Toshimi Scholarship is free of any conditions related to post-graduation activities, including employment.

Obligations of Recipients

Scholarship recipients are expected to fulfill the following obligations:

(1) Comply with all rules stated in the Scholarship Guide and inform the Foundation promptly if they cease to satisfy any of the conditions for granting the scholarship.

(2) Promptly notify the Representative Director of the Foundation if any of the following occurs:
i. Leave of absence, reinstatement, transfer or withdrawal from school
ii. Suspension or other disciplinary action
iii. Change in name, address or other important personal information
iv. Likelihood of repeating a year of study or not being able to graduate within the standard period for completion

(3) Submit the following documents to the Representative Director of the Foundation:
i. Student registration certificate and a report on living condition
ii. Academic transcript

(4) Participate in events held by the Foundation.

(5) Even after graduating, participate actively as an alumni and keep the Foundation updated of your current status.

Application FAQ

Eligibility for Recommendation

Q Are there any restrictions on nationality?

A No, there are no restrictions on nationality. (However, those with Japanese nationality are not eligible.)

Q Is there an age limit?

A You must be 38 years old or younger as of April 1, 2023.

Q Can I be recommended even if my status of residence in Japan is not College Student?

A Only those with College Student status may be recommended.

Q Can research students also be recommended?

A No, research students cannot be recommended. You must be currently enrolled as a regular student to be eligible.

Q Can I be recommended if I have previously applied or been selected for the scholarship through direct application?

A No, those who have applied by direct application in the past cannot be recommended, regardless of whether or not they were successful. Please apply through the direct application process: the application period begins in April.

Q Can I be recommended if I am not majoring in business administration?

A Eligibility extends to a broad range of fields related to business administration, including economics and data science. If you are from a developing country where business administration is not an established discipline, "international relations" is also acceptable.

Q Can I be recommended if I am enrolled in an engineering-related graduate school?

A You can be recommended if your studies are in an area "directly related to medicine/pharmacology."

Eligible areas include, for example:
- Human medical engineering such as development of testing/analysis devices, biomaterials engineering, development of optical devices, medical systems (therapy/diagnosis), and development of mechanical aids for research and development in areas such as medicine, pharmacology, and biosciences;
- Human assistive technology and medical care and welfare engineering, such as health and welfare engineering, human assistive technology, nursing and care engineering, non-industrial assistive robotics, and rehabilitation engineering;
- Bioinformatics and computational sciences, such as genomic data analysis;
- Drug discovery.

In your Scholarship Application Form, please be sure to state clearly how your studies are related and applicable to medicine/pharmacology. You will be ineligible if the relationship is unclear.

Q Am I eligible to be recommended even if I already have a scholarship from another organization?

A No, you cannot be recommended if you have already been awarded another scholarship valid during the period covered by this scholarship.

Q Can I be recommended if I have secured admission for April, 2023 but am yet to arrive in Japan?

A No, you cannot. You need to submit a student registration certificate and certificate of residence together with your application, so you must be in Japan at the time of recommendation.

Q Can I be recommended if I have secured admission for April, 2023?

A You can be recommended, but as a rule, this is only possible if you are proceeding from an undergraduate to a master's program (business administration only) or master's to doctoral program, or transferring from research student to regular student status within the same university in April, 2023. However, this is only permitted in cases where you have been engaged in discussions with your prospective supervisor and he/she is able to write a letter of recommendation that includes comments on both your personality and your research plans. Please be sure to attach a copy of a document proving your admission when submitting your application.

If you are studying in the field of engineering, you can also be recommended if you will be in the second year of a master's program as of April 2023, and have a firm intention of advancing to a doctoral program.

Q I will graduate from my current program in the fall of 2023. Can I be recommended?

A No, you cannot. Eligibility is limited to applicants who will be enrolled throughout the payment period (April 2023 - March 2024). However, scholarship recipients in fiscal 2022 may apply for renewal for their final half-year prior to graduation.

Q I am taking advantage of an extended enrollment system or remaining in my program past the standard period for completion. Can I still be recommended?

A Students taking advantage of an extended enrollment system, students who remain in a program past the standard period for completion (including doctoral program students past the standard period for completion), and students unlikely to complete their studies within the standard period for completion are ineligible. Scholarship recipients will have their scholarship cancelled if their graduation is delayed after they were selected as recipients.

Q I plan to participate in an academic exchange program. Can I still be recommended?

A Those who plan to leave Japan for a total of forty days or more during the period covered by the scholarship for exchange program, homecoming visit, traveling, attending online classes from outside Japan, or other reasons (i.e. not being based in Japan) are ineligible.

Application Materials

Q How can I obtain a Scholarship Application Form?

A Please copy the Scholarship Application Form sent by mail or print out a copy of the file sent to your university staff by email. The form is not available for download from the Foundation's website.
Please note that application forms are different for new and renewing applicants, as well as for the medical fields and the business fields applicants (engineering applicants should use the application form for medical fields and the letter of recommendation for engineering). Your application will be ineligible if you do not use the correct form.

Q Does my application need to be handwritten?

A The application must be handwritten by the applicant. Your application will be disqualified if all or any part of the application is typed or handwritten by someone other than yourself, or written with erasable pens.

Application FAQ

Q **As of when should I provide information on the institution currently attended (所属機関)?**

A The information you provide for institution currently attended, year level, and other aspects of your studies and life should be correct as of the time of application. However, if you have secured admission to a degree program beginning in April, 2023, please provide the institution attended, year level, and other information as of April, 2023.

Q **How should I submit copies of my Scholarship Application Form, academic transcript and research papers?**

A Please enclose four sets of copies, each comprising a copy of the Scholarship Application Form and the academic transcript, single-sided, on A4 size paper (use color copying for the page with your photograph attached). If you have completed your Scholarship Application Form in English, please also attach four sets of copies of a Japanese translation thereof. Copies of the checklist, student registration certificate, certificate of residence, and letters of recommendation are not required. Please leave your copies unstapled.
If you have any research papers that have been published, please enclose four collated copies of them (double-sided, stapled, then write your reference number and your name in Katakana at the upper right-hand corner of the first page. Please underline your name in the list of authors, using pens with red ink.). Renewing applicants should only submit the research papers published (or accepted) after December 2021.

Q **How should I fill out Section ④(学歴・職歴) of the application?**

A Provide your academic data from the last school attended in your home country to the school you are currently attending, in chronological order beginning with the oldest data at the top and leaving no gaps in the chronology (include any Japanese language schools attended and any universities attended as a research student). Also provide details on any work experience you have.

Example)

2013	9	～	2017	8	Department of XXX, Faculty of △△, ○○ University (△△ City, ○○ Province, China)
2017	9	～	2020	8	Worked in a research position, ○○ Co., Ltd. (△△ City, ○○ Province, China)
2020	10	～	2021	3	☆☆☆Japanese Language School (Tokyo)
2021	4	～	2022	3	Research student, Graduate School of △△, ○○ University
2022	4	～			5-year doctoral program, Graduate School of △△, ○○ University

Q **I just matriculated and haven't yet compiled an academic record at the graduate school I now attend. Is an undergraduate transcript acceptable?**

A Yes, you may submit a transcript of the undergraduate institution from which you graduated.

Q **Does the transcript have to be an original? Do you accept copies?**

A You may submit a copy.

Q Are transcripts written in the language of my home country accepted?

A Yes. If it is difficult to obtain a transcript written in Japanese or English, you may submit a transcript written in the language of your home country. Please note that, as specified in the program guide, submit the most recent transcript with course titles, credits earned, grades or other evaluations of student performance, and explanations of what the evaluations mean. (Pass/fail records alone are not acceptable.) At least one year's worth of academic transcripts are required. If your most recent transcript only covers half a year, submit the one from the previous year as well.

Q Is the deadline (Wednesday, November 30) the postmarked date or the date by which my application has to arrive at the Foundation?

A Your application must arrive at our office by 3:00 p.m. on Wednesday, November 30. Only applications sent by mail are accepted. Please note that the deadline for online submission of application documents through the Application Support System on our website is on Monday, November 28, 5:00 p.m.. Be sure to send a hard copy of your application documents by mail after submitting them on online.

Q Do you accept application forms completed in English?

A Application forms completed in English will be accepted but must be accompanied by a Japanese translation of all English entries, including proper nouns. In such cases, the forms completed in English must be handwritten by the applicant. If you are able to fill out sections of the form in Japanese, we encourage you to do so. The Japanese translation need not be handwritten. No specific format or structure is required for the Japanese translation, but make sure that the translation clearly corresponds with each page of your application and is printed on single-sided paper (no both-side printing). Please note that your application will be disqualified if there are any unnatural and unintelligible expressions, mistranslations, large omissions, translated content that is not contained in the original text, or other inaccuracies in the Japanese translation. Also, for the sections on "Future Aspirations (future aspirations and progress of the past one year)" (将来の抱負{将来の抱負とこの1年の進捗}), "Research Subjects (research progress over the past one year and research plans for the next year)" (研究内容{研究について、この1年の進捗と来年の研究計画}) and "Progress and Achievements over the past One Year" (過去1年の成果及び活動), please be sure to clearly indicate the character counts of the Japanese translations and keep them within the character limits.

Application FAQ

Q **The sections for "Future Aspirations (future aspirations and progress of the past one year)" (将来の抱負{将来の抱負とこの1年の進捗}), "Research Subjects (research progress over the past one year and research plans for the next year)" (研究内容{研究について、この1年の進捗と来年の研究計画}) and "Progress and Achievements over the past One Year" (過去1年の成果及び活動) have grid lines for Japanese characters. How should I proceed if I'm completing these sections in English?**

A Simply ignore the grid lines. No limitation is placed on the number of alphanumeric characters when you complete them in English. In the Japanese translations, however, please make sure to stay within the predetermined limit on the number of characters and clearly indicate the character counts.

Q **What should I do if I have no particular "Progress over the past One Year" (過去1年の成果) to report?**

A Please report any achievements or advancements over the past one year, including not only presentations at academic conferences and papers submitted for publication, but also other achievements in your studies, activities contributing to the community, and so forth. If you had few achievements and advancements last year, you should not apply.

Q **Can I receive the Foundation's scholarship if I receive another scholarship?**

A No, you cannot.
You cannot receive the Foundation's scholarship at the same time as receiving benefits under the Japan Science and Technology Agency's Support for Pioneering Research Initiated by the Next Generation, the MEXT's University Fellowship Founding Project for Innovation Creation in Science and Technology, or other similar programs/projects.
All funds to support living expenses and those with no specified purpose of use (such as purchasing materials directly required for research) are considered "scholarships," even if they are called "research incentive grants," "research focus support funds" or the like.

Q **Under "Have you applied for other scholarships/research grants?" (他奨学金・研究助成金の併願状況), how should I enter one-off payments?**

A When entering your information online, select "Annual amount" and enter the total yearly amount. On the Scholarship Application Form, in a blank space enter words such as "once-off" to explain the type of payment. If explanations are needed for other items on the form, enter them in blank spaces and mark them for attention using sticky notes.

Q **Where are the required 5 spaces to write the reference number?**

A Please refer to the STEP04 of the "Application Process" section in the Scholarship Guide or the Application Support System. In addition to these five spaces, you must also write the reference number on the envelope containing your letter of recommendation.

Japanese Proficiency

Q **Am I eligible regardless of my Japanese proficiency?**

A Yes. However, your Japanese proficiency (assessed in light of the length of your stay to date in Japan) may affect your evaluation as a candidate. A lack of enthusiasm for Japanese, such as failure to speak any Japanese at all during the interview, will be detrimental to your evaluation.

Q **Is it possible to be interviewed in English?**

A While interviews are normally conducted in Japanese, they may be conducted in English if you arrived in Japan recently. Please note that you will be interviewed in Japanese if your application has been prepared in Japanese. Accordingly, be sure to prepare your application in English if you cannot speak Japanese.
Even if you are interviewed in English, efforts to speak in Japanese, such as giving a simple self-introduction, will be evaluated positively.

Other Questions

Q **Who should enter my basic information and submit my application online through the Application Support System?**

A As a rule, applicants should do this themselves. Information in the Application Support System is provided in both Japanese and English. You may ask the staff in charge at your university for assistance.

Q **I do not know my reference number. What should I do?**

A Your reference number will be issued upon completion of the online submission process.

Q **Is my application complete once I have submitted online?**

A No, your application is not yet complete. Write the reference number issued upon online submission in the required five spaces (refer to STEP04 of the "Application Process" section) on your application documents, and submit all the documents together to the staff in charge at your university. In addition to these five spaces, you must also write the reference number on the envelope containing your letter of recommendation. (The staff should collate all application documents and send them to the Foundation Office by mail.)

Q **Will it affect the selection process if I earn income from a part-time job or the like?**

A The selection process is not affected by income earned as a TA, RA, in part-time work, or received as a research grant. However, if your Application Form fails to show how you are meeting your tuition and living expenses, such as where details of your income and expenses are not provided or your stated income does not match your expenses, or lacks reasonable explanation for such failure, your application will be disqualified. Therefore, please accurately describe your current situation.

Q **When and where will the interviews be conducted?**

A Interviews will be conducted in Osaka or Tokyo by the end of February 2023 (tentative). You will be asked to travel to the venue at the time indicated.

Q **When will I be contacted about an interview?**

A The staff in charge at your university will be notified by email by the end of January.

Q **I'm a renewing applicant. Should I complete the Scholarship Application Form and submit all required documents as a new applicant does?**

A Yes. All applicants should complete the Scholarship Application Form and mail it to the Foundation, along with the application materials specified in the program guide. Applicants for half-year renewal should follow exactly the same process.

If you have any questions not covered in this FAQ, please contact the Foundation Office.

Establishment

The Otsuka Toshimi Scholarship Foundation was established on March 6, 2007.
The Foundation was formally registered as a "public interest incorporated foundation" on April 1, 2012.

Background to the Foundation's Establishment

Japan's aging population and low birthrates have become prominent trends in recent years that are expected to accelerate. The country faces a strong need to develop as many talented young people as possible. Meanwhile, developing countries in Asia, the Middle East, Africa, and other parts of the world--which have strong economic, educational, and cultural ties with our country--have growing numbers of young people but limited opportunities for them to study and pursue research at universities and other institutes of higher education in Japan and other developed countries. Additionally, young people from such countries often struggle financially while studying abroad due to inadequate resources.

Given these conditions and the need for ongoing, mutually beneficial development, it was recognized that the provision of financial assistance to Asian, Middle Eastern, African, and other international students specializing in medicine, pharmacology, nutrition, physical education, and business administration at Japanese universities and graduate schools would be highly meaningful and worthwhile. Accordingly, the Otsuka Toshimi Scholarship Foundation was established in 2007.

Profile of Toshimi Otsuka, the Founding Donor

The Foundation began with a private donation from Toshimi Otsuka, a member of the family that founded the Otsuka Group. Toshimi Otsuka was born on December 24, 1922, in Naruto, Tokushima Prefecture. Raised by hard-working parents, she enjoyed a happy childhood.

In 1950, Toshimi Otsuka joined Otsuka Pharmaceutical Factory, a firm established by Busaburo Otsuka, her father. There she assumed various responsibilities ranging from clerical work to employee dormitory management. She lived simply and frugally, practicing economy wherever possible. In her later years, she expressed a wish to help society in some way and offered to donate her lifetime savings for the purpose.

The Otsuka Toshimi Scholarship Foundation was established in 2007 to provide financial assistance to students from countries that have long supported the growth of the Otsuka Group and thereby contribute to the development of future leaders in those countries.

While serving as a director of the Foundation, Toshimi Otsuka attended the award ceremonies for scholarship recipients each year, drawing on her own life experiences over the years to talk about the joys of learning and the importance of overcoming obstacles. A gracious and modest

woman of personal integrity, she died on May 3, 2011, having led an unblemished life for 88 years.

The memory of Toshimi Otsuka lives on in the Foundation's activities.

Objectives

The Foundation's objective is to foster the talents of individuals with the potential to promote goodwill and understanding between Japan and countries around the world, by offering scholarships to exceptional international students enrolled at universities and graduate schools in Japan, thereby ultimately promoting friendship between Japan and other countries and contributing to mutual development in academics, culture, and education.

Activities

1. Awarding scholarships to exceptional international students enrolled at universities and graduate schools in Japan
2. Guiding and advising scholarship recipients on living and studying in Japan
3. Other activities needed to achieve the Foundation's objectives

（ 新規 ）

2023年度 公益財団法人大塚敏美育英奨学財団
奨学生応募書類チェックリスト＜医薬系＞

No.23 - S

※受付番号を記入すること
番号がないものは選考外

（大学推薦：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 大学）

カタカナ	
氏名	
生年月日	西暦　　年　　月　　日生

チェック欄		提出書類
1		＜医薬系＞奨学生願書 （当財団指定用紙を使用すること） ※黒インク又は黒ボールペンで記入のこと（消せるペン・青インクのペンは使用不可） 【該当者のみ】日本語訳は両面不可。様式は問わないが願書の各ページに対応させること
2		推薦状 ※工学系は工学用の推薦状を使用してください。 （推薦者が自筆で署名の上、密封して提出すること。英語の推薦状には日本語訳を添付すること）[注1]
3		写真1枚 （カラー、胸から上、正面で、応募前6ヵ月以内のもの、4.5×3.5cmを願書に貼付のこと）
4		成績証明書 （原本またはコピー） （履修科目、単位数、点数、評価及びその説明のあるもの。合格、不合格の評価のみのものは不可。段階評価又は点数評価された直近の年のものを送付のこと[注2]。成績証明書は1年分必要なため、直近のものが半年分の場合はその前年のものも添付すること）
5		在学証明書 （日本語で書かれた募集開始日以降のもの、コピー不可）
6		住民票の写し（募集開始日以降のもの）[注3] （コピー不可。「国籍・地域」「在留資格等」が省略されているもの不可。外国人登録原票記載事項証明書の原本及びコピー不可。また、外国人登録証明書のコピーも不可。マイナンバーが記載されたもの不可）
7		願書及び成績証明書のコピー 4セット （写真貼付の願書1枚目のみカラーコピー、ホチキス留めはしない）
8		【該当者のみ】論文のコピー 4セット（出版済の論文がある人のみ。両面印刷でホチキス留めすること。最初のページの自分の名前に赤ペンで下線を引き、右上には受付番号と、カタカナで名前を書くこと）
9		【該当者のみ】他の奨学金及び研究助成金の支給団体名、期間、使途、金額等を証する写し （2023年4月～2024年3月にかかる期間で他の奨学金及び研究助成金を受給中、又は受給が決定している場合のみ）
10		大学担当部署のチェックは受けましたか？また、指定の5ヵ所に受付番号（成績証明書には右上に受付番号とカタカナで名前も記入すること）は書きましたか？加えて推薦状の入った封筒にも受付番号を書いてください。

注1・・ 推薦者は、在籍校で専門授業や研究指導を請け負っている方のみ。

注2・・ 在籍校の成績証明書が合格・不合格のみの場合、または卒業まで評価が出ない場合は、卒業した大学の直近の成績証明書を添付すること。（母国の成績証明書可）

注3・・ 外国人登録原票記載事項証明書、在留カードのコピーは不可。

2012年7月9日より「適法に3か月を超えて在留する外国人であって住所を有する者」について住民票が作成されているため、住民票以外のものは添付資料として認めません。

No. 23 - S

※受付番号を記入すること
番号がないものは選考外

奨学生願書
＜医薬系＞

写真貼付のこと
(4.5×3.5cm)
カラー・胸から上を近影
6カ月以内のもの

公益財団法人大塚敏美育英奨学財団

代表理事　大　塚　　一　郎　殿

年　　月　　日

貴財団の奨学生として採用を希望しますので、所定書類を添付のうえ応募いたします。

①	フリガナ		性別	年齢	満　　歳
	氏、　名		男	生年月日	西暦　　年　　月　　日
	アルファベット表記				
	母国語表記		女	国籍	
	氏名（アルファベット大文字）				
	Family name/Surname（姓）	, First name（名）	Middle name		
② 分野（該当するものに○を記入）		医学 ・ 歯学 ・ 薬学 ・ 工学			

③ 所属機関	大学院名／機関名	学部・研究科	学科・専攻
	学　年（該当する課程に○を記入）	学籍番号	指導教員名
	博士前期（修士に該当） 博士後期（博士に該当） （4年制）博士課程　　年		
	日本への入国年月	入学年月	卒業・修了予定年月
	年　　月	年　　月	年　　月

④ 学歴及び職歴（兵役も含む）	年	月	～	年	月	学　歴（母国の最終学歴から記入）・職　歴
			～			
			～			
			～			
			～			
			～			
			～			
			～			
			～			

⑤ 外国人留学生担当部署及び担当者名	外国人留学生担当部署	担当者名
	課・センター	（フリガナ：　　）
	担当部署（担当者）の連絡先電話番号	担当者メールアドレス
	－　　－	

⑥ 本人現住所	〒　　—	
	最寄りの電車の駅	線　　駅
	自宅 ・ 学寮 ・ アパート ・ その他〔　　〕	
	携帯電話番号	電話番号(固定電話)
	—　　—	TEL.　　—　　—
	Email (PC)　※ 読みやすく書いてください	
⑦ 母国の住所	〒　　—	
	TEL.　　—　　—	

⑧家族構成（父母・配偶者・子・兄弟姉妹）	氏　名	続柄	年齢	勤務先/学校名	自宅住所
					TEL.
					TEL.
					TEL.
					TEL.
					TEL.
					TEL.

⑨ 配偶者の収入	※以下は配偶者がいる場合のみ記入	
	奨学金受給の有無	有 ・ 無
	支給団体名： （月額･年額　　円 / 受給期間:　　年　　月 ～　　年　　月）	
	給与(アルバイト等も含む)	円/月 （職種:　　）

⑩ 生活費	家賃	生活費(食費・光熱費等) ※授業料・家賃は除く
	円/月	円/月
⑪ 収入等	月収入(アルバイト、TA、RA等)	
	有 ・ 無	円/月 (職種:) (労働時間: 時間/週)
	仕送り	
	有 ・ 無	円/月 (仕送り人続柄:)
	現在受給中の奨学金	
	有 ・ 無	名称: 月額・年額 円(受給期間: 年 月 ～ 年 月)
	その他収入(児童手当、貯金の取り崩し等もここに書くこと)	
	円/月 (内容:)	
⑫ 授業料減免	現在の減免状況	申請中 ・ 確定(全額 / 半額 / ____%) ・ 不合格 ・ 申請していない 授業料免除制度なし ・ 制度はあるが申請資格なし
	授業料	円/年 / 今年度の自己負担額 / 円
	来年4月～の状況	申請予定(月) ・ 申請中 ・ 確定(全額 / 半額 / %) ・ 不合格 申請予定なし ・ 授業料免除制度なし ・ 制度はあるが申請資格なし
⑬ 学業面	週に何日授業がありますか？	(対面・オンライン・両方) 日
	主に授業がある/研究をするのはいつですか？	昼間 ・ 夜間 ・ 半々
	週に何日通学しますか？(授業・研究を含める)	日
	土日祝は学校/研究室へ行きますか？	毎週 ・ 時々 ・ 休み
	平均して何時～何時まで大学(研究室)にいますか？	時 ～ 時
	現在受給中の研究助成金	
	有 ・ 無	名称: 円(受給期間: 年 月 ～ 年 月)
	過去の研究助成金受給実績 名称 / 月額・年額(○で囲む) / 受給期間	
	名称: (月額・年額 円 / 受給期間: 年 月 ～ 年 月)	
⑭ 現在の奨学金・研究助成金併願状況	申請先 / 申請中・確定 / 月額・年額 (○で囲む)	
	名称: (申請中・確定 / 結果発表: 月 日) (月額・年額 円 / 受給期間: 年 月 ～ 年 月)	
	名称: (申請中・確定 / 結果発表: 月 日) (月額・年額 円 / 受給期間: 年 月 ～ 年 月)	
⑮ 過去の奨学金受給実績	名称 / 月額・年額(○で囲む) / 受給期間	
	名称: (月額・年額 円 / 受給期間: 年 月 ～ 年 月)	
	名称: (月額・年額 円 / 受給期間: 年 月 ～ 年 月)	

※アルバイト等の収入や研究助成金の受給は合否に影響はありません。ただし収入と支出の明細が記入されていない、又は合理性に欠けると判断される場合は選考対象外となりますので、現状を正確に記入してください。

［医薬系］

推 薦 状

被推薦者名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

上記留学生は貴財団奨学生として適格な人物と認め推薦いたします。

但し、奨学生として採用された場合は、貴財団の諸規程を遵守するよう指導いたしますと共に、もし、給付停止の要件に奨学生が該当したときは、速やかに、その旨を貴財団に連絡することを確約いたします。

年　　月　　日

（ 推薦者 ）

大学院名
（機関名）

講座　　分野

役職

氏名
（ご署名）　　印

電話番号　　Email

※講座、分野がない場合は空欄にしてください。
※氏名（ご署名）欄は推薦者が自筆でご記入ください。代筆・タイプの場合は選考対象外とします。
※推薦状は必ず推薦者自らが密封し、被推薦者または奨学金担当者にお渡しください。

推 薦 理 由

（推薦者との関係とその期間、人物・将来性についての所見、被推薦者が取り組むテーマの意義等）

※ 被推薦者が当財団奨学生に採用されて実施した研究成果が論文発表された場合には、その論文別刷（コピー可）の1部を当財団事務局まで送付してくださいますようお願いいたします。また、論文には当財団より支援を受けた旨を謝辞欄に明記するよう被推薦者にご指導をお願いいたします。

⑯ 将 来 の 抱 負

● 将来、社会でどのような役割を担いたいか書いてください。

句読点を含めて400字以内で総論的にまとめること。(字数制限を超えたものは審査の対象としません。)

200

400字

● 日本と母国の架け橋としてどのようにリーダーシップを発揮したいかを書いてください。

⑰留学の目的	
⑱将来の抱負に対する現在の進捗度	
⑲2023年の目標	

⑳ 研　究　内　容

「研究内容」「研究室の中で具体的に自分が何をしているか」「来年1年間で研究テーマに対してどう貢献していくか」を書いてください。

研究タイトル

句読点を含めて800字以内で具体的にまとめること。（字数制限を超えたものは審査の対象としません。）

400

460字(次ページへ続く)

⑳ 研　究　内　容

600

800字

● 2023年の学会発表、論文投稿の状況

例)　国内発表　(口頭・)ポスター　/　応募中　(採択)　5、10　月

・国内発表　口頭・ポスター　/　応募中・採択　＿＿＿＿月

口頭・ポスター　/　応募中・採択　＿＿＿＿月

・海外発表　口頭・ポスター　/　応募中・採択　＿＿＿＿月

口頭・ポスター　/　応募中・採択　＿＿＿＿月

・論文　投稿中　和文誌　＿＿本＿＿＿＿月　/　英文誌　＿＿本　＿＿＿＿月

誌名：

※ 雑誌・論文は正式名称を記入すること

㉑ 過去1年の成果及び活動

過去1年間でどのような成果をあげたか書いてください。
(学会発表・論文投稿・社会貢献活動等を含む1年間の成果及び進展)
句読点を含めて400字以内で具体的にまとめること。(字数制限を超えたものは審査の対象としません。)
※箇条書き不可。成果及び進展が乏しい人は応募できません。

200

400字

㉒ 学会発表、論文投稿等の実績

2022年11月までの実績をすべて記入してください。誌名等の詳細は下の詳細欄に箇条書きで書いてください。

※学術誌論文の場合は「著者名」「論文標題」「雑誌名」「巻」「最初と最後の頁」「発行年（西暦）」「査読の有無」「IF」「掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）」を書いてください。著者名が多数の場合は上位3名のみ記入し、著者の総数と申請者の順番を記載すること。

例）国内発表　口頭　3 回 / ポスター　5 回

1. 国内発表　口頭　＿＿＿回 / ポスター　＿＿＿回
2. 海外発表　口頭　＿＿＿回 / ポスター　＿＿＿回
3. 論文 掲載済　和文誌　＿＿＿本 / 英文誌　＿＿＿本
4. 論文 掲載決定　和文誌　＿＿＿本 / 英文誌　＿＿＿本

（論文、学会等の詳細）

㉓資格・特記事項等	日本語能力検定　　級(　　年　　月取得)							
	TOEICスコア　　点(　　年　　月取得)、TOEFLスコア　　点(　　年　　月取得)							
㉔　振込先	フリガナ							
	口座名義人							
	銀行・ゆうちょ銀行等の預貯金口座							
		銀行・信用金庫・信用組合			本店・支店・出張所			
	口座番号							

私は、奨学生願書に記入した内容および提出書類に虚偽のないことを、ここに誓います。
また、本申請に関する個人情報を財団が事業の目的の範囲内で第三者に提供することに同意いたします。

署名:　　印

印鑑をお持ちの場合は押印してください。

※出願書類に不備・不明な点がある場合、記載内容に虚偽があった場合には、選考から除外します。
※採用後、記載内容に虚偽が発見された場合には、採用を取り消します。

☆記入上の注意☆

- 推薦状以外、応募者本人が日本語もしくは英語の手書きで記入すること。
  英語の場合、日本語訳を添付すること(両面不可。様式は問わないが願書の各ページに対応させること)。
- 応募者が使用可能な言語で願書を記入すること(日本語で願書を提出した場合は日本語での面接になります)。
- 黒インク又は黒ボールペンで記入のこと(消せるペン・青インクのペンは使用不可)。
- 固有名詞はすべて正式名称とし、省略は一切しないこと。

なお、記入いただいた情報は、当財団の事業を遂行する目的以外には一切使用しません。